



InterSafe WebFilter

エクスポート/インポート手順

Ver8.x 以降用

目次

1. はじめに	5
1-1. コマンドの使用方法	5
1-2. グループ記述ファイルについて	5
1-3. amserver.log について	5
2. エクスポート	6
2-1. エクスポート可能な項目について	6
2-2. msggroup コマンド[グループ管理]	6
フォーマット	6
コマンド実行例	6
2-3. msgaccount コマンド[アカウント管理]	7
フォーマット	7
コマンド実行例 1	7
コマンド実行例 2	7
2-4. msgip コマンド[IP アドレスユーザ管理]	7
フォーマット	7
コマンド実行例 1	7
コマンド実行例 2	7
2-5. msgcategoryrule コマンド[カテゴリルール管理]	8
フォーマット	8
コマンド実行例 1	8
コマンド実行例 2	8
2-6. msgschedule コマンド[スケジュール管理]	8
フォーマット	8
コマンド実行例 1	8
コマンド実行例 2	8
2-7. msgurl コマンド[例外 URL 管理]	9
フォーマット	9
コマンド実行例 1	9
コマンド実行例 2	9
2-8. msgcategorymsg コマンド[カテゴリ別メッセージ管理]	9
フォーマット	9
コマンド実行例 1	9
コマンド実行例 2	9
2-9. msgcategorypostsize コマンド[カテゴリ別書き込み規制サイズ管理]	10
フォーマット	10
コマンド実行例 1	10
コマンド実行例 2	10
2-10. msgruleflag コマンド[ルール適用 (グループ) 管理]	10
フォーマット	10
コマンド実行例 1	10

コマンド実行例 2	10
2-11. amsuruleflg コマンド[ルール適用 (ユーザ) 管理]	11
フォーマット	11
コマンド実行例 1	11
コマンド実行例 2	11

3. インポート **12**

3-1. インポート可能な項目について **12**

3-2. インポート時のエラー処理について **12**

3-3. amsgroup コマンド[グループ管理] **13**

 グループの新規作成フォーマット (①の作業) 13

 グループ追加のコマンド実行例 13

 グループの設定変更フォーマット (②の作業) 13

 グループの設定変更コマンドの実行例 13

 エクスポートファイルを分割してグループを登録・変更する場合 14

3-4. amsaccount コマンド[アカウント管理] **15**

 ユーザ追加フォーマット (①の作業) 15

 ユーザ追加のコマンド実行例 15

 ユーザの設定変更フォーマット (②の作業) 15

 ユーザの設定変更コマンドの実行例 15

 エクスポートファイルを分割してユーザを登録・変更する場合 15

3-5. amsip コマンド[IP アドレスユーザ管理] **16**

 フォーマット 16

 コマンド実行例 16

3-6. amscaterule コマンド[カテゴリルール管理] **16**

 カテゴリルールの新規作成フォーマット (①の作業) 16

 カテゴリルール新規作成のコマンド実行例 16

 カテゴリルールの設定変更フォーマット (②の作業) 16

 カテゴリルールの設定変更コマンドの実行例 16

 エクスポートファイルを編集してカテゴリルールを登録・変更する場合 16

3-7. amsschedule コマンド[スケジュール管理] **18**

 スケジュールの追加フォーマット 18

 スケジュール追加のコマンド実行例 18

3-8. amsurl コマンド[例外 URL 管理] **18**

 フォーマット 18

 コマンド実行例 1 18

 コマンド実行例 2 18

3-9. amscatmsg コマンド[カテゴリ別メッセージ管理] **19**

 フォーマット 19

コマンド実行例	19
3-10. amscatpostsiz コマンド[カテゴリ別書き込み規制サイズ管理]	19
フォーマット	19
コマンド実行例	19
3-11. amsgruleflg コマンド[ルール適用（グループ）管理]	19
フォーマット	19
コマンド実行例	19
3-12. amsuruleflg コマンド[ルール適用（ユーザ）管理]	21
フォーマット	21
コマンド実行例	21
4. コマンドで設定できない項目	22
4-1. グループ管理	22
4-2. ユーザ管理	23
4-3. 共通アクセス管理	24
4-4. 個別アクセス管理	24
4-5. 規制解除申請管理	28
4-6. サーバ管理	28
4-7. 設定情報管理	28
4-8. ログ管理	28

変更履歴

改訂	変更日	ページ番号	変更内容
第2版	2013/5/1	P.5	「1. はじめに」の説明文を追加
		P.6	「2-2. amsgroup コマンド」の注意書きを変更
		P.8	「2-8. amscatemsg コマンド」の注意書きを追加
		P.10	「2-10. amsgruleflg コマンド」の注意書きを追加
		P.11	「2-11. amsuruleflg コマンド」の注意書きを追加
		P.21	「4. コマンドで設定できない項目」を追加
第3版	2018/10/23	P.18	「3-8.amsurl コマンド[例外 URL 管理]」の注意書きを追加

1.はじめに

本マニュアルでは、InterSafe WebFilter(以下 WebFilter と記載)のコマンドでエクスポート/インポートする場合の手順・注意点について説明しています。利用者の運用を想定して、エクスポート/インポートの順番は手順書の通り行なっていただける内容となっております。なお、コマンドではグループ/ユーザ管理と個別管理の一部に対してエクスポート/インポートが可能です。コマンドにて対応していない設定もございますので、予めご了承ください。本マニュアルは WebFilter Ver8.0 以降を対象としており、Ver7.0 以前のバージョンではご利用いただけません。

1-1.コマンドの使用方法

コマンドは次のフォルダ/ディレクトリで実行してください。

WindowsOS の場合 : <WebFilter 導入フォルダ>\bin

デフォルトは「C:\InterSafe\bin」です。

LinuxOS の場合 : /<WebFilter 導入ディレクトリ>/bin

デフォルトは「/usr/local/intersafe/bin」です。

SolarisOS の場合 : /<WebFilter 導入ディレクトリ>/bin

デフォルトは「/opt/intersafe/bin」です。

- 操作手順の中に、WebFilter のマニュアルを参照する説明がありますので、WebFilter の管理者マニュアルを準備してください。
- 異バージョン間の WebFilter でのエクスポート/インポートはできません。必ず同じバージョンの WebFilter でエクスポート/インポートを行ってください。
- エクスポート/インポート時は必ずファイルの文字コードを指定します(encoding オプション)。エンコード形式の指定が間違っていると正しくファイルを読み込むことができませんので注意してください。本マニュアルでは UTF-8 を指定します。

1-2.グループ記述ファイルについて

コマンドによっては、実行時対象となるグループを事前に「グループ記述ファイル」として作成しておくことで、グループを限定してコマンドを実行することが可能です。

本マニュアルでは、グループ記述ファイル名を「gkijutsu.txt」として説明します。

グループ記述ファイルは以下のようなフォーマットでテキストファイルとして作成してください。

```
営業部
総務部¥管理課
システム大学¥大学院¥情報処理研究室
```

- グループは 1 行につき、1 グループを記述します。
- 上位グループが存在する場合は、第 1 階層から「¥」または「\」（バックスラッシュ）で区切って入力します。

1-3. amserver.logについて

amserver.log には、コマンド実行時のエラーが記録されます。

以下のように、出力日時とエラーメッセージを、コマンドを実行したフォルダに出力します。

2010-04-02 20:29:36,234 Failed to store configuration file.

2. エクスポート

ここでは、WebFilter でのエクスポート作業について説明します。

2-1. エクスポート可能な項目について

WebFilter では以下の項目についてエクスポートが可能です。

- エクスポートはマスタサーバでのみ実行可能です。

表 2-1

コマンド	内容	備考
amsgroup	グループ管理	
amsaccount	アカウント管理	Ver7.0 以前では amsuser
amsip	IP アドレスユーザ管理	
amscaterule	カテゴリルール管理	
amsschedule	スケジュール管理	
amsurl	例外 URL 設定	
amscatemsg	カテゴリ別メッセージの変更/出力	
amscatepostsize	グループごとのカテゴリ別書き込み規制サイズの変更/出力	
amsruleflg	ルール適用（グループ）管理の変更/出力	
amsuruleflg	ルール適用（ユーザ）管理の変更/出力	

2-2. amsgroup コマンド [グループ管理]

フォーマット

amsgroup -export ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例

WebFilter に登録されているグループを、「group.txt」にエクスポートする場合

```
amsgroup -export group.txt -encoding UTF8
```

- グループに適用されているルールはエクスポートされません。amsruleflg コマンド [ルール適用（グループ）管理] を利用してください。

2-3. amsaccountコマンド[アカウント管理]

フォーマット

amsaccount -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8 [-p [ON|OFF]]

- -p オプションを指定した場合は、エクスポート時にパスワードを出力するかどうかを指定します。
パスワードを出力する場合は「ON」、パスワードを出力しない場合は「OFF」を指定します。
- -p オプションを指定しない場合は、エクスポート時にパスワードを出力します。
- エクスポートしたファイルを利用してインポートを行なう場合、パスワードは出力するようにしてください。

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全ユーザを、「user.txt」にエクスポートする場合

```
amsaccount -export user.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されているユーザを、「Sales_user.txt」にエクスポートする場合

```
amsaccount -export Sales_user.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

2-4. amsipコマンド[IPアドレスユーザ管理]

フォーマット

amsip -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全 IP アドレスユーザを、「ip.txt」にエクスポートする場合

```
amsip -export ip.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の総務部管理課グループに登録されている IP アドレスユーザを、「kanri_ip.txt」にエクスポートする場合

```
amsip -export kanri_ip.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
総務部管理課
```

2-5. amscateruleコマンド[カテゴリルール管理]

フォーマット

amscaterule -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループのカテゴリルールを、「caterule.txt」にエクスポートする場合

```
amscaterule -export caterule.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されているカテゴリルールを、「Sales_caterule.txt」にエクスポートする場合

```
amscaterule -export Sales_caterule.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

2-6. amsscheduleコマンド[スケジュール管理]

フォーマット

amsschedule -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループのスケジュールを、「schedule.txt」にエクスポートする場合

```
amsschedule -export schedule.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されているスケジュールを、「Sales_sche.txt」にエクスポートする場合

```
amsschedule -export Sales_sche.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```


2-7.amsurlコマンド[例外URL管理]

フォーマット

amsurl -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループの例外 URL を、「url.txt」にエクスポートする場合

```
amsurl -export url.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter のシステム大学□大学院□情報処理研究室グループに登録されている例外 URL を、「u_url.txt」にエクスポートする場合

```
amsurl -export u_url.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
システム大学¥大学院¥情報処理研究室
```

2-8.amscatmsgコマンド[カテゴリ別メッセージ管理]

フォーマット

amscatmsg -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

- メッセージ設定(カテゴリ共通)のエクスポートはできません。

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループのカテゴリ別規制メッセージを、「catmsg.txt」にエクスポートする場合

```
amscatmsg -export catmsg.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されているカテゴリ別規制メッセージを、「Sales_msg.txt」にエクスポートする場合

```
amscatmsg -export Sales_msg.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

2-9.amscatepostsizeコマンド[カテゴリ別書き込み規制サイズ管理]

フォーマット

amscatepostsize -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループのカテゴリ別書き込み規制サイズを、「catepostsize.txt」にエクスポートする場合

```
amscatepostsize -export catepostsize.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されているカテゴリ別書き込み規制サイズを、「Sales_psize.txt」にエクスポートする場合

```
amscatepostsize -export Sales_psize.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

2-10.amsgruleflgコマンド[ルール適用（グループ）管理]

フォーマット

amsgruleflg -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

- グループごとの優先カテゴリ設定、ブラウザ規制設定、検索キーワード規制設定、書き込みキーワード規制設定はエクスポートされません。

コマンド実行例 1

WebFilter に設定されている全グループのルール適用情報を、「gruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsgruleflg -export gruleflg.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループのルール適用情報を、「Sales_gruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsgruleflg -export Sales_gruleflg.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

2-11.amsuruleflgコマンド[ルール適用(ユーザ)管理]

フォーマット

amsuruleflg -export ファイル名 [-g グループ記述ファイル名] -encoding EUC|SJIS|UTF8

- ユーザごとの、ブラウザ規制設定、検索キーワード規制設定、書き込みキーワード規制設定はエクスポートされません。

コマンド実行例 1

WebFilter に登録されている全グループの個別ユーザのルール適用情報を、「uruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsuruleflg -export uruleflg.txt -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter の営業部グループに登録されている個別ユーザのルール適用情報を、「Sales_uruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsuruleflg -export Sales_uruleflg.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
営業部
```

3.インポート

ここでは、WebFilter でのインポート作業について説明します。

3-1.インポート可能な項目について

WebFilter では以下の項目についてインポートが可能です。

- インポートはマスタサーバでのみ実行可能です。

表 3-1

コマンド	コマンド	内容
amsgroup	グループ管理	
amsaccount	アカウント管理	Ver7.0 以前では amsuser
amsip	IP アドレスユーザの管理	
amscaterule	カテゴリルール管理	
amsschedule	スケジュール管理	
amsurl	例外 URL 設定	
amscatemsg	カテゴリ別メッセージの変更/出力	
amscatepostsize	グループごとのカテゴリ別書き込み規制サイズの変更/出力	
amsgruleflg	ルール適用（グループ）管理の変更/出力	
amsuruleflg	ルール適用（ユーザ）管理の変更/出力	

3-2.インポート時のエラー処理について

コマンドによっては、前項でエクスポートした内容をそのままインポートすると、コマンドライン上に以下のメッセージが表示され、amserror.log にエラーが出力される場合があります。

Processing was continued though the error occurred.

これは、インポートファイル内にデフォルトで登録されている情報(グループ、ユーザ、カテゴリルールなど)がインポートファイル内に存在し、その情報を再度登録しようとしてエラーとなりますが、それ以外の重複していない情報については処理が行われています。そのためデフォルトで登録されている情報が含まれたエクスポートファイルを利用しても処理上問題はありません。

ただし、エラーとなる情報が多いと処理に時間がかかることがありますので、その場合は、重複している情報を予め削除してからインポートすることをお勧めいたします。

手順としては、

- お客様が追加した記述
- デフォルトで設定されている記述

の2つにファイルを分ける必要があります。ファイルを分ける必要のある情報は、グループ、ユーザ、スケジュールの3種です。

グループ … amsgroup コマンドのエクスポートデータ
ユーザ … amsaccount コマンドのエクスポートデータ
スケジュール … amsschedule コマンドのエクスポートデータ

3-3.amsgroupコマンド[グループ管理]

グループ作成には、①お客様が追加したグループを新規作成する、②デフォルトグループの設定を変更している場合、移行先のデフォルトグループの設定内容を編集する作業が必要です。

インポート時にエラーが出力されても問題ない場合は、エクスポートしたファイルをそのままご利用いただけます。(P.12「3-2.インポート時のエラー処理について」を参照)

■ 特殊グループについて

「ADMIN」「LDAP」「未登録ユーザ」グループは特殊グループのため、移行前の環境でこのグループの名前を変更している場合は、移行先のグループ名を手動で変更してから作業を行なってください。移行先のグループ名を変更せずに作業を行なうと、一般のグループとして新規作成され、システム管理権限が付与されない、認証が正常に行われないなど問題が発生します。

グループの新規作成フォーマット (①の作業)

```
amsgroup -add ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

グループ追加のコマンド実行例

WebFilterに「group.txt」を利用して、新規グループを追加する場合

```
amsgroup -add group.txt -encoding UTF8
```

- グループ ID(3 列目)はエクスポート時の ID が入ったままになっていますが、グループ追加時、自動で新しい ID が付与されるため、変更する必要はありません。
- 次の項目はグループの新規作成時に参照されないため、設定内容を移行することはできません。後ほど、手動で設定し直す必要があります。
上位グループ参照フラグ、下位グループ強制適用フラグ、カテゴリ設定適用フラグ、例外 URL 適用フラグ

グループの設定変更フォーマット (②の作業)

```
amsgroup -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

グループの設定変更コマンドの実行例

WebFilterに「group.txt」を利用して、グループの設定変更する場合

```
amsgroup -mod group.txt -encoding UTF8
```

- グループ ID(3 列目)はエクスポート時の ID が入ったままになっていますが、グループ変更時参照しないため、変更する必要はありません。
- 次の項目はグループ変更時に参照されないため、設定内容を変更することはできません。後ほど、手動で設定し直す必要があります。
上位グループ参照フラグ、下位グループ強制適用フラグ、カテゴリ設定適用フラグ、例外 URL 適用フラグ

3-4.amsaccountコマンド[アカウント管理]

ユーザ作成には、①お客様が追加したユーザを新規作成する、②デフォルトで存在するユーザの設定を変更している場合、移行先のデフォルトユーザの設定内容を編集する作業が必要です。

インポート時にエラーが出力されても問題ない場合は、エクスポートしたファイルをそのままご利用いただけます。(P.12「3-2.インポート時のエラー処理について」を参照)

ユーザ追加フォーマット (①の作業)

```
amsaccount -add ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

ユーザ追加のコマンド実行例

WebFilterに「user.txt」を利用して、ユーザを追加する場合

```
amsaccount -add user.txt -encoding UTF8
```

- ルール個別適用を行なっているユーザの場合、ユーザ登録時にルール個別適用の設定内容を移行することはできません。後ほど、amsuruleflg コマンドを利用して、個別にルール適用を行なってください。

ユーザの設定変更フォーマット (②の作業)

```
amsaccount -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

ユーザの設定変更コマンドの実行例

WebFilterに「user.txt」を利用して、デフォルトで設定されているユーザに設定変更する場合

```
amsaccount -mod user.txt -encoding UTF8
```

- ルール個別適用を行なっているユーザの場合、ユーザ変更時にルール個別適用の設定内容を変更することはできません。後ほど、amsuruleflg コマンドを利用して、個別にルール適用を行なってください。

エクスポートファイルを分割してユーザを登録・変更する場合

例えば、amsaccount コマンドでエクスポートしたファイルの内容が下記のような場合、「デフォルトで設定されているユーザ」と「お客様が追加したユーザ」でファイルを分けます。そのあと、作成したファイルを使用して①②の作業を行なってください。

アカウント名,パスワード,グループ名,メールアドレス,アカウント種別,コメント,個別ルール	ヘッダ
"root","root","ADMIN",,"6",,"",	デフォルトで設定されているユーザ
"guest","guest","GROUP",,"0",,"",	
"yamada","password","営業部","test@test.com","0","comment",	お客様が追加したユーザ
"takahashi","password","営業部",,"3",,"",	
"tanaka","password","販売本部",,"0",,"",,"ルール個別適用"	

- 「デフォルトで設定されているユーザ」は上記の2つのみですので、それ以外のユーザは「お客様が追加したユーザ」となります。
- 分割したそれぞれのファイルで、1行目には以下のヘッダをつけてください。
アカウント名,パスワード,グループ名,メールアドレス,アカウント種別,コメント,個別ルール

3-5.amsipコマンド[IPアドレスユーザ管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

フォーマット

```
amsip -add ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

コマンド実行例

WebFilterに「ip.txt」を利用して、IPアドレスを追加する場合

```
amsip -add ip.txt -encoding UTF8
```

- ルール個別適用を行なっているIPユーザの場合、IPユーザ登録時にルール個別適用の設定内容を移行することはできません。後ほど、amsuruleflgコマンドを利用して、個別にルール適用を行なってください。

3-6.amscateruleコマンド[カテゴリルール管理]

カテゴリルール作成には、①カテゴリルールを新規作成する（すべてのカテゴリが規制/許可で作成されます）、②カテゴリルールを編集する作業が必要です。

インポート時にエラーが出力されても問題ない場合は、エクスポートしたファイルをそのままご利用いただけます。（「インポート時のエラー処理について」を参照）

カテゴリルールの新規作成フォーマット（①の作業）

```
amscaterule -create ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

カテゴリルール新規作成のコマンド実行例

WebFilterに「caterule.txt」を利用して、カテゴリルールを追加する場合

```
amscaterule -create caterule.txt -encoding UTF8
```

カテゴリルールの設定変更フォーマット（②の作業）

```
amscaterule -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

カテゴリルールの設定変更コマンドの実行例

カテゴリルール変更時は、エクスポートファイルをそのまま利用してカテゴリルールを変更することが可能です。

WebFilterに「caterule.txt」を利用して、既に設定されているカテゴリルールの設定を変更する場合

```
amscaterule -mod caterule.txt -encoding UTF8
```

エクスポートファイルを編集してカテゴリルールを登録・変更する場合

amscateruleコマンドの[-create]オプションを使用する場合、エクスポートファイルをそのまま使用すると、amserror.logに以下のようなログが出力されますが、カテゴリルールの作成処理に問題はありません。

```
2012-12-07 16:03:48,409 Same rule name is already in use. Cannot set data. ["ルートグループ","DEFAULT RULE","ユーザ設定","ユーザ設定1","11"]
```

エラーを出力しないようにするには、カテゴリルール作成用のファイルをご用意ください。

例えば、amscateruleコマンドでエクスポートしたファイル(caterule.txt)の内容が下記のような場合について説明します。

グループ名,ルール名,メインカテゴリ名,サブカテゴリ名,規制方法	ヘッダ
"ルートグループ","DEFAULT RULE","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	デフォルトで設定されているルール
"ルートグループ","小学校","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","中学校","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","高校","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","大学","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","企業・官公庁（基本的な設定）","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","企業・官公庁（セキュリティ重視）","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"ルートグループ","企業・官公庁（業務効率化重視）","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"営業部","業務時間内","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	お客様が追加したルール
"営業部","業務時間外","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	
"販売本部","販売本部用","ユーザ設定","ユーザ設定 1","11"	

- カテゴリルールのエクスポートファイルは、1 カテゴリルールにつき全カテゴリの内容が表示されるため、各カテゴリルール最初の1行のみを記載しています。
- 「デフォルトで設定されているカテゴリルール」は上記の8つのみですので、それ以外のカテゴリルールは「お客様が追加したカテゴリルール」となります。
- 作成したそれぞれのファイルで、1行目には以下のヘッダをつけてください。
グループ名,ルール名,メインカテゴリ名,サブカテゴリ名,規制方法

カテゴリ追加用のファイルの内容は、エクスポートファイルから「お客様が追加したカテゴリルール」の最初の1行のみを抜き出して作成します。

カテゴリ追加用のファイルの内容

グループ名,ルール名,メインカテゴリ名,サブカテゴリ名,規制方法
"営業部","業務時間内",,,
"営業部","業務時間外",,,
"販売本部","販売本部用",,,

また、amscaterule コマンドの [-mod] オプションを使用する場合、エクスポートファイルをそのまま使用すると、amserror.log に以下のようなログが出力されますが、カテゴリルールの変更処理に問題はありません。これは、変更不可カテゴリ（セキュリティ[マルウェア、セキュリティ[DBD 攻撃]）に対して変更を行おうとしているためですが、実際に規制内容は変更できません。

2012-12-07 16:03:48,988 Category/subcategory name is not specified or it is not listed in the file. Cannot set data. ["ルートグループ","DEFAULT RULE","セキュリティ","マルウェア","11"]

3-7. amsschedule コマンド [スケジュール管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

スケジュールの追加フォーマット

```
amsschedule -add ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

スケジュール追加のコマンド実行例

WebFilter に「addschedule.txt」を利用して、スケジュールを追加する場合

```
amsschedule -add addschedule.txt -encoding UTF8
```

3-8. amsurl コマンド [例外 URL 管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

フォーマット

```
amsurl -import ファイル名 [-g グループ記述ファイル名または -all] -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

- [-import] オプションを使用すると、指定されたファイルに記述されている例外 URL をインポートし、すべてのデータを入れ替えます。このとき、既に登録されている例外 URL はすべて削除されます。
- 実行時には [-g] オプションまたは [-all] オプションのどちらかを必ず指定してください。
- 例外 URL をインポートする例外 URL ルールは、予め作成しておく必要があります。

コマンド実行例 1

WebFilter に「url.txt」を利用して、全グループに例外 URL を登録する場合

```
amsurl -import url.txt -all -encoding UTF8
```

コマンド実行例 2

WebFilter に「url.txt」を利用してシステム大学□大学院□情報処理研究室グループに登録されている例外 URL を登録する場合

```
amsurl -import url.txt -g gkijutsu.txt -encoding UTF8
```

グループ記述ファイルの内容

```
システム大学¥大学院¥情報処理研究室
```

3-9.amscatemsgコマンド[カテゴリ別メッセージ管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

- amscatemsg コマンドで、カテゴリ単位のメッセージ設定以外は移行できません。手動での設定が必要です。

フォーマット

```
amscatemsg -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

コマンド実行例

WebFilter に「catemsg.txt」を利用して、カテゴリ別規制メッセージを変更する場合

```
amscatemsg -mod catemsg.txt -encoding UTF8
```

3-10.amscatepostsizeコマンド[カテゴリ別書き込み規制サイズ管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

- amscatepostsize コマンドで、書き込み許容サイズ以外の規制オプションを移行することはできません。手動での設定が必要です。

フォーマット

```
amscatepostsize -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

コマンド実行例

WebFilter に「catepostsize.txt」を利用して、カテゴリ別書き込み規制サイズを変更する場合

```
amscatepostsize -mod catepostsize.txt -encoding UTF8
```

3-11.amsgruleflgコマンド[ルール適用（グループ）管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

- amsgruleflg コマンドで、カテゴリルール、スケジュールルール、規制画面ルール、規制オプションルール、例外 URL ルール以外の適用設定を移行することはできません。手動での設定が必要です。

フォーマット

```
amsgruleflg -mod ファイル名 -encoding EUC|SJIS|UTF8
```

コマンド実行例

WebFilter に設定されているグループのルール適用情報を、「gruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsgruleflg -mod gruleflg.txt -encoding UTF8
```


3-12.amsuruleflgコマンド[ルール適用(ユーザ)管理]

エクスポートファイルをそのまま利用してインポートすることが可能です。

- amsuruleflg コマンドで、カテゴリルール、スケジュールルール、規制オプションルール以外の適用設定を移行することはできません。手動での設定が必要です。

フォーマット

```
amsuruleflg -mod ファイル名-encoding EUC|SJIS|UTF8
```

コマンド実行例

WebFilter に登録されている全グループの個別ユーザのルール適用情報を、「uruleflg.txt」にエクスポートする場合

```
amsuruleflg -mod uruleflg.txt -encoding UTF8
```

4. コマンドで設定できない項目

ここでは、コマンドで設定できない項目について管理画面をベースに説明します。

4-1. グループ管理

図 4-1 ルール設定

amsgroup コマンドでエクスポートが可能です。ただし、-add/mod オプションでは参照されませんので、グループ追加後、管理画面より適宜変更してください。

一括設定	
上位グループ参照	設定されていません。
下位グループ強制参照	設定されていません。
例外URL参照	設定されていません。
カテゴリ設定制限	設定されていません。

適用ルール	
▶ カテゴリ/スケジュール設定	開発用スケジュール
▶ 例外URL設定	グループ専用 (削除不可)
▶ 優先カテゴリ設定	
▶ ブラウザ規制設定	
▶ 検索キーワード規制設定	
▶ 書き込みキーワード規制設定	
▶ 規制画面設定	DEFAULT RULE
▶ 規制オプション設定	DEFAULT RULE

amsgruleflg コマンドでエクスポート/インポートが可能です。ただし、優先カテゴリ設定、ブラウザ規制設定、検索キーワード規制設定、書き込みキーワード規制設定、規制画面設定と規制オプション設定の一部の設定はエクスポート/インポートできません。グループ追加後、管理画面より適宜変更してください。

図 4-2 グループ情報

amsgroup コマンドでエクスポート/インポートが可能です。ただし、グループ名は変更できません。

グループ名	開発部
コメント	

図 4-3 LDAP 設定

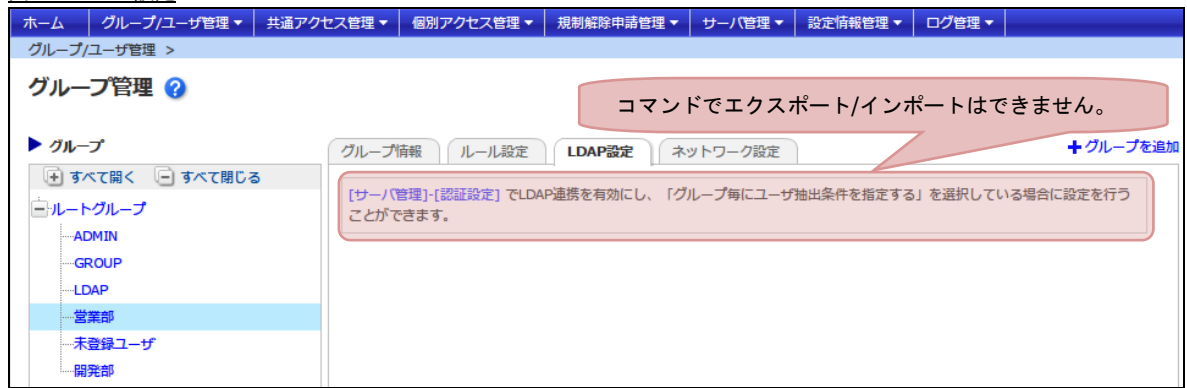


図 4-4 ネットワーク設定



4-2. ユーザ管理

図 4-5 アカウント一覧



図 4-6 IP アドレス一覧



4-3. 共通アクセス管理

コマンドでの設定はできません。

4-4. 個別アクセス管理

図 4-7 カテゴリ設定

amscaterule コマンドでエクスポート/インポートが可能です。

登録	ルール名	カテゴリ設定制限	適用
1	DEFAULT RULE		<input checked="" type="radio"/>
2	小学校		<input type="radio"/>
3	中学校		<input type="radio"/>
4	高校		<input type="radio"/>
5	大学		<input type="radio"/>
6	企業・官公庁 (基本的な設定)		<input type="radio"/>
7	企業・官公庁 (セキュリティ重視)		<input type="radio"/>
8	企業・官公庁 (業務効率化重視)		<input type="radio"/>

図 4-8 スケジュール設定

amsschedule コマンドでエクスポート/インポートが可能です。

登録	スケジュール設定	カテゴリ設定	適用
1	開発用スケジュール	開発用	<input checked="" type="radio"/>

図 4-9 例外 URL 設定

amsurl コマンドでエクスポート/インポートが可能です。

登録	ルール名	適用
1	グループ専用 (削除不可)	<input type="radio"/>
2	業務用例外URL	<input type="radio"/>

図 4-10 優先カテゴリ設定

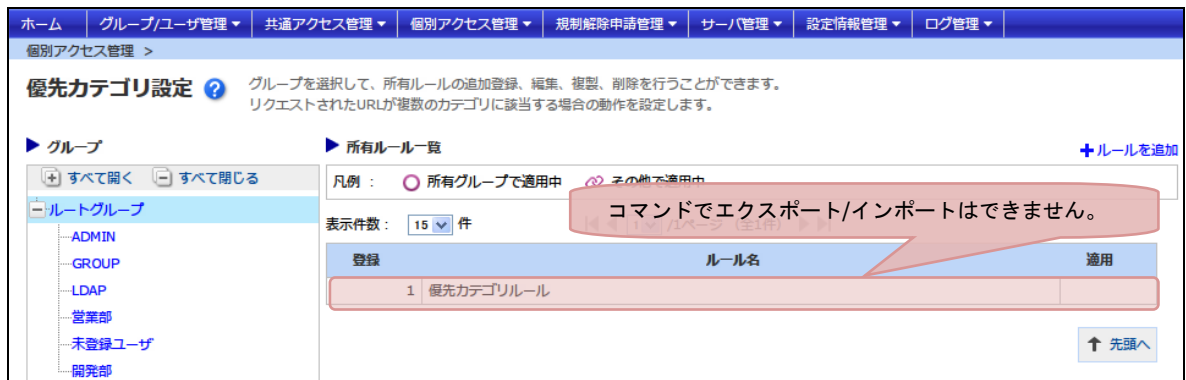


図 4-11 ブラウザ規制設定

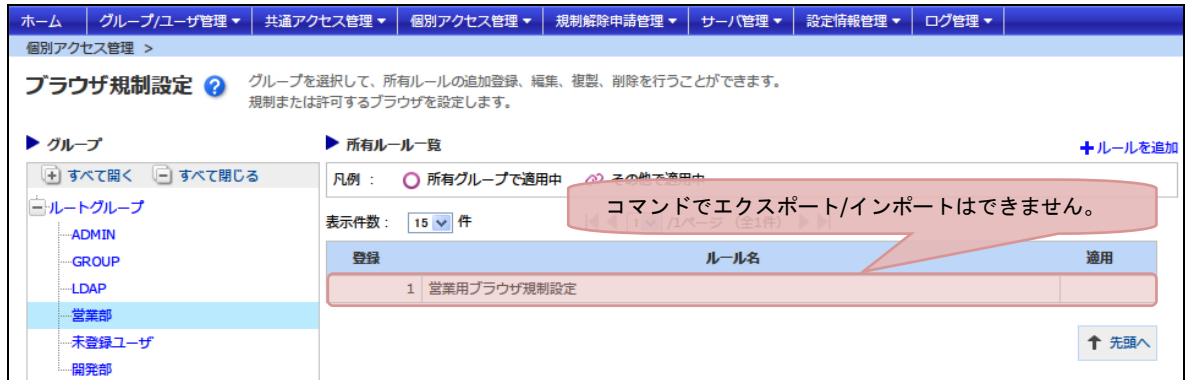


図 4-12 検索キーワード規制設定

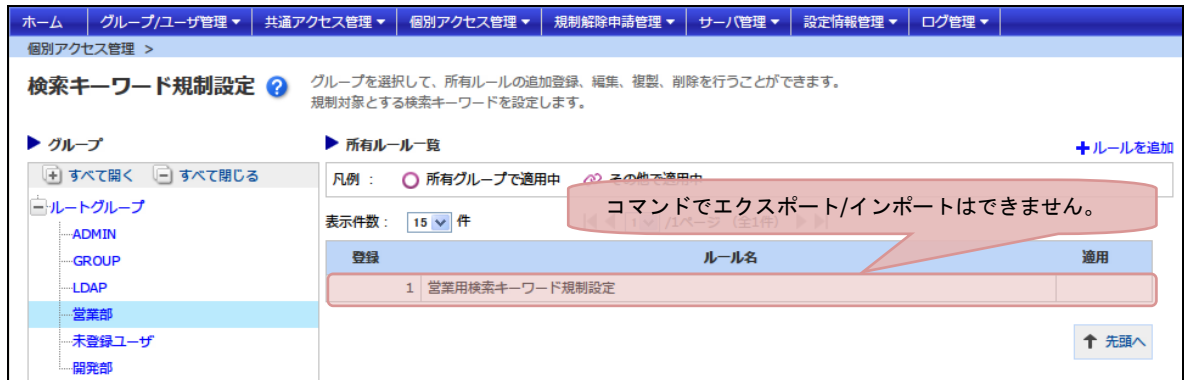


図 4-13 書き込みキーワード規制設定

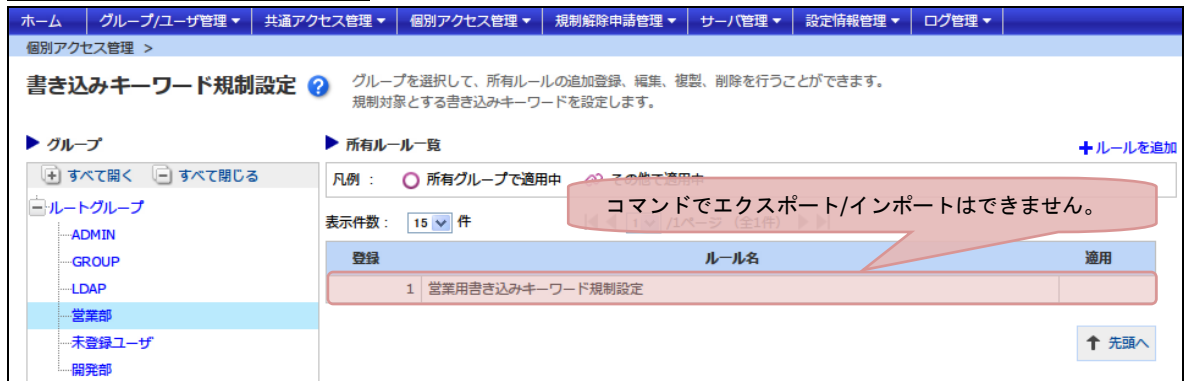


図 4-14 規制画面設定

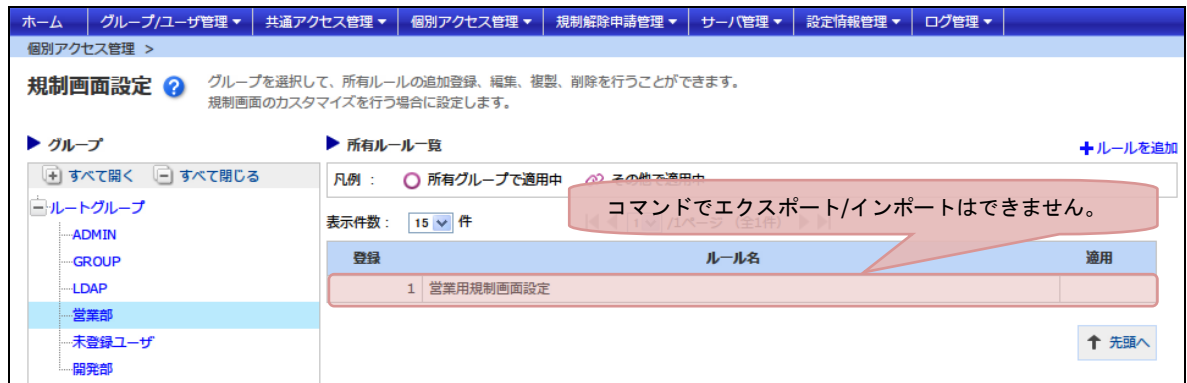


図 4-15 規制画面設定 - 詳細設定



図 4-16 規制オプション設定

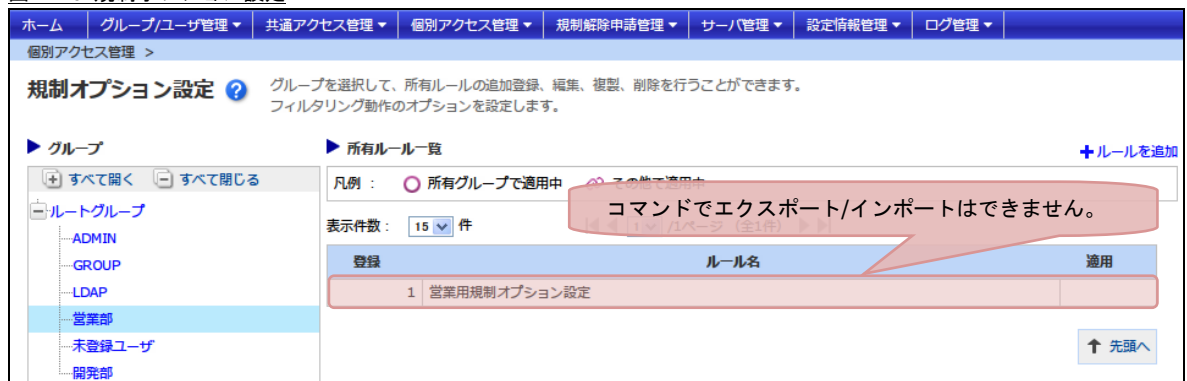


図 4-17 規制オプション - 詳細設定 (規制/一時解除設定)

ホーム | グループ/ユーザ管理 | 共通アクセス管理 | 個別アクセス管理 | 規制解除申請管理 | サーバ管理 | 設定

個別アクセス管理 > 規制オプション設定 >

ルール詳細 ? フィルタリング動作のオプションを設定します。

選択中のルール 営業部 > 営業用規制オプション設定

ルール情報 | 規制/一時解除設定 | [+ このルールを複製](#)

コマンドでエクスポート/インポートはできません。

動作設定

IPアドレス規制	無効
一括書き込み規制	無効
一括一時解除	無効
マルチパートリクエスト規制	無効

一時解除設定

「カテゴリ設定」「優先カテゴリ設定」を含むすべての一時解除時に使用されます。
パスワード未設定で一時解除方法に「パスワードあり」を設定した場合は、「一時解除不可」と同じ状態になります。

解除時間	120秒
パスワード	設定なし

[編集](#)

図 4-18 規制オプション設定 - 詳細設定 (書き込み許容サイズ)

ホーム | グループ/ユーザ管理 | 共通アクセス管理 | 個別アクセス管理 | 規制解除申請管理 | サーバ管理 | 設定

個別アクセス管理 > 規制オプション設定 >

ルール詳細 ? フィルタリング動作のオプションを設定します。

選択中のルール 営業部 > 営業用規制オプション設定

ルール情報 | 規制/一時解除設定 | **書き込み許容サイズ** | [+ このルールを複製](#)

書き込み規制が設定されている場合に `amscatepostsize` コマンドでエクスポート/インポートが可能です。

カテゴリ単位でサイズを設定しています

カテゴリ > サブカテゴリ		サイズ[byte]
+ ユーザ設定		0
+ 不法		0
+ アダルト・フェティシズム		0
+ セキュリティ		0
+ 出会い		0
+ 金融		0
+ ギャンブル		0
+ ショッピング		0
+ コミュニケーション		100
+ ITサービス		0
+ プロバイダ・ポータル・ホスティング		0

[編集](#)

4-5. 規制解除申請管理

コマンドでの設定はできません。

4-6. サーバ管理

コマンドでの設定はできません。

4-7. 設定情報管理

コマンドでの設定はできません。

4-8. ログ管理

コマンドでの設定はできません。

InterSafeWebFilter エクスポート/インポート手順書 Ver8.x 以降用

2018年10月 第3版

作成/発行/企画 アルプスシステムインテグレーション株式会社

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7

※記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複写することを禁じます。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。